

事務事業名	子育て世帯応援給付金給付事業		所属部	子ども政策局	所属課	子ども家庭支援課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	子ども家庭支援G	課長名 白築 香
	施策名	〈25〉子育て支援の充実		担当者名	野々村 悟史	電話番号 0854-40-1067 (内線) 2262
	目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0～18歳)	意 図 A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	予算科目	会計	款 大事業 大事業 子育て世帯応援給付金 項 目 中事業 中事業 子育て世帯応援給付金
	基本事業	〈073〉経済的支援の充実			業名	給付事業
目的	対 象 保護者等	意 図 子育てに係る経済的負担が軽減される。	業名	給付事業		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
ひとり親世帯	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、特に厳しい状況にある低所得の子育て世帯への経済的な支援を行う
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	給付金の支給日が属する月の初日に雲南市において住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第5条に規定する住民基本台帳に記録されている者で、かつ児童扶養手当の受給資格を有する者であつて、次の各号に該当する者とする。 (1) 雲南市低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給事業実施要綱に基づく給付金の支給決定を受けた者をいう。 (2) 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給要領に基づき、雲南市以外から支給決定を受けた者をいう。
④ 主な活動 R4年度実績(R4年度に行った主な活動) 子育て世帯応援給付金の支給	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 本事業は、令和4年度単年度事業である。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 支給世帯	世帯			201	
イ 支給児童	人			311	
ウ 給付額	千円			1,555	
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
消耗品	8千円	財源内訳	国庫支出金	千円			15,574	
通信運搬費	16千円		県支出金	千円				
交付金	15,550千円		地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円				
		事業費計		千円	0	0	15,574	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭に対し、国の給付金に子ども一人につき50千円上乗せ支給することにより、低所得のひとり親世帯をより支援することができた。
② 事業実施するうえでの課題	国の給付金と同時支給が望ましいが、基準日まで国の給付金の支給を待つと国の給付金の支払いまでも遅くなるため同時支給ができなかった。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事業開始時期が国の給付金と同時ならば、同時支給することが可能となる。